

最近の雇用失業情勢（令和7年7月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.25倍（季調値）」（前月と同水準）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月と同水準**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が低下しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は公務・その他、製造業等で増。宿泊業・飲食サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,447人 宿泊業・飲食サービス業の減員等により－44人
（前年同月 1.0%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
【運輸・郵便業】当月：268人 前年同月：+51人
【卸売業・小売業】当月：606人 前年同月：+64人
【医療・福祉】当月：1,056人 前年同月：+59人
- 「減」（対前年同月比）
【宿泊・飲食サービス業】当月：282人 前年同月：－129人
【サービス業】当月：448人 前年同月：－122人
【公務・その他】当月：70人 前年同月：－29人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.09倍 前年同月：－0.01P
【米子所】当月：1.29倍 前年同月：－0.07P
【倉吉所】当月：1.40倍 前年同月：+0.12P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.10倍（9か月連続で前年同月を上回る）
→全国指標1.00倍（10か月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：1,901人 （前年同月2.1%増）